

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和2年7月20日

施設名	青少年体育館	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	--------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(特非)高知県青年会館	指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町八田1767		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><令和元年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生スポーツ教室 ・体力づくり教室 ・小学生バドミントン教室 ・第22回高知県小学生ドッジボール大会 ・レディーストレーニング講習会 ・青少年体育館スポーツ交流会 ・スポーツ鬼ごっこ教室 ・ディスクゴルフ教室 ・青年団連携事業 ・一般社会人対象スポーツ教室 		
施設内容	<p>青少年の健全育成及び県民の健康増進並びに体育の振興を図り、併せて社会教育活動の用に供することを目的としている。</p> <p>利用開始日：平成3年12月1日 建築物：鉄筋コンクリート一部2階</p> <p>施設概要：</p> <p>1階アリーナ 1,728㎡ バスケットボール2面 バレーボール3面 バドミントン10面 卓球15台 ハンドボール1面 テニス3面</p> <p>トレーニング室 144㎡ 会議室72㎡×2室 更衣室・シャワー室 2階観覧席 1,500席</p>		
職員体制	職員：館長1名 館長補佐1名 副館長1名 指導員3名 事務員1名 合計：7名 ※館長・館長補佐は高知青少年の家と兼務		

2 収支の状況

(単位：円)

		H30年度(決算)	R01年度(決算)	R02年度(予算)
収入	県支出金	37,951,000	38,188,000	37,591,000
	事業費収入	484,324	530,333	600,000
	収入計	38,435,324	38,718,333	38,191,000
支出	事業費	508,314	484,392	670,000
	管理運営費	16,783,357	16,124,203	15,452,000
	人件費	18,416,692	18,552,599	18,597,000
	消費税	2,726,961	3,557,139	3,472,000
	支出計	38,435,324	38,718,333	38,191,000
使用料収入		4,204,910	4,407,270	4,420,000

3 利用実績

(1)利用団体数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平均
利用者数	60,926	65,449	70,484	58,630	60,991	63,296
利用団体数	1,508	1,553	1,830	1,482	1,640	1,603

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業を増やし、利用者の増加に尽力していることは評価できる。 ・高校や障害者団体等と連携を図り、利用向上に努めている。地域の青年団とさらに連携をして、活動を展開してほしい。 ・主催事業は、「小学生スポーツ教室」として卓球、新体操、バレーボール、バドミントン、バスケットボールの5種目を実施した。新体操については独自性のあるプログラムとして、教室の最終日には、多くの保護者や関係者が見守る中で発表会を行った。また、施設利用者の相互の親睦を図るため、「第4回青少年体育館スポーツ交流会」を開催した。 ・県立スポーツ施設等情報システムによって空き状況などをお知らせし利用者を募った。 ・いの町と連携し各種スポーツ大会を共催しており、地域型総合スポーツクラブの「いのスポーツクラブ」の普及の一助を担っている。 ・近隣の学校等にチラシを配布し、PRに努めている。 ・健康パスポートとの連携について、HPに情報を掲載すると良い。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命講習の受講を、職員は年1回は受講させること。 ・体育館HPに利用可能時間を掲載するとともに、申込方法や利用にあたっての注意事項など、初めて利用する方への情報を充実すること。 ・清掃や器具庫の整理整頓に努めており、利用者側が気持ちよく使えるよう、清潔な施設づくりを徹底している。また、トレーニング器具の調整・管理に常に気を配り、清潔感と安全・安心感を持っていただけるよう取り組んでいる。 ・県主催の青少年教育施設連絡協議会指導者講習会に指導員を参加させ、指導力の向上に努めている。 ・利用者からトレーニング機器の新調を願う声が多く寄せられている、と以前から聞いていたが、本日の委員会で、既にメーカーがないマシンを9台使用しているという現実を知った。バスケットゴールもかなり古くなっている。安全点検に気を配り、事故ゼロを継続してくれているが、事故が発生した場合、県が責任をとるにしても、現場スタッフの心労は計り知れない。県には何かある前に対応をお願いしたい。 ・老朽化が進むトレーニング機器が多くあるにも関わらず、無事故を続けているのは職員の並々ならぬ努力の賜だ。早期の機器の更新を望む。
③施設の運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率が非常に高いことは評価できる。 ・施設の老朽化を補うため、施設内に季節ごとの装飾を施し、利用者に対して肯定的な影響を与えられるよう工夫がなされている。 ・体育館の床の張り替えがなされ、平成3年建築の建物とは思えないほどきれいに管理されている。 ・職員による巡回・目視により、床面のささくれやトレーニング器具の安全点検など常に気を付けており、事故やケガがないことは評価できる。 ・少ない人数の中で業務がスムーズにできるよう、器具の配置場所を分かりやすく表示するなど工夫しながら効率化に取り組んでいる。 ・「体力づくり教室」に参加している各団体に体育館内外の清掃を呼びかけ、約30名の参加があった。

④利用実績	・令和元年度は新規主催事業として「レディーストレーニング講習会」「ディスクゴルフ教室」「青年団連携事業」「一般社会人対象スポーツ教室」を開催、「レディーストレーニング講習会」と「一般社会人対象スポーツ教室」は募集人数を上回る参加者があり、令和2年度にも期待したい。
⑤収支の状況	
総合評価	A
	・老朽化が進むトレーニング機器が多くあるにも関わらず、職員による安全点検の徹底により無事故を継続している。 ・いの町と連携したスポーツ大会など既存事業を継続的に実施しながら、新規事業も積極的に取り入れ、利用者の増に努めている。 ・青少年教育施設として仕様書に定める内容や目標を十分に達成している。

- 【評価の目安】
- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。